

衛生器具 日本工業規格 JIS A 5207 改正

～製品の進化に合わせて区分や規格の見直しを実施～

このたび、衛生器具の日本工業規格 JIS A 5207 が見直されました。

低炭素・循環型社会の構築に向けた持続可能で活力ある国土づくりの推進に当たり、節水による環境貢献が評価され、2010年12月施行の“住宅エコポイント制度”における省エネ器具選定基準の一つとして、JIS A 5207 の大便器節水区分「節水Ⅱ形」が採用されることとなりました。これを受け、前回の JIS 改正(2011年1月改正)では、市場に急速に普及し始めたタンクレス便器や排水芯可変式便器が JIS 対象品に拡充されました。

その後、2012年12月には、都市の低炭素化の促進に関する法律(略称:エコまち法)が施行され、当該法においても省エネ器具選定基準の一つとして JIS A 5207 の大便器節水区分が採用となりました。

このような背景のもと、製品が進化を続ける中で製品の種類が多岐にわたり、従来の規格内容では必ずしも十分ではなくなってきたことから、製品区分の見直しや、規定のない基本性能を明確にする改正がなされました。

【主な改正点】

■タンクレス便器の区分独立

スタイリッシュで人気の高いタンクレス便器は、フラッシュバルブ式便器の区分に含まれていましたが、今回の改正で「専用洗浄弁式」として独立した区分になりました。

ローシルエットでデザイン性が高いため、新築、リフォームを問わず人気上昇してきています。

背面に背の高いタンクがないため、限られたトイレ空間でも広々感じられるメリットもあります。

また、節水機能、衛生面・お掃除配慮など、各社の最先端機能を搭載したモデルが多く発売されています。



ジャニス工業スマートクリン



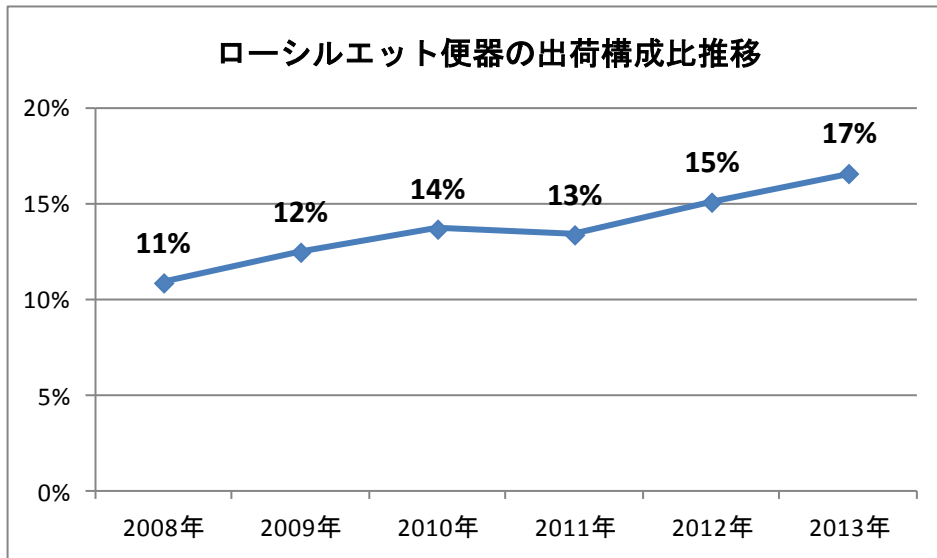
TOTO ネオレスト



パナソニック アラウーノ



LIXIL サティス



※ローシルエット便器とは、全高680mm までの便器を指す。(一部タンク給水式も含む)

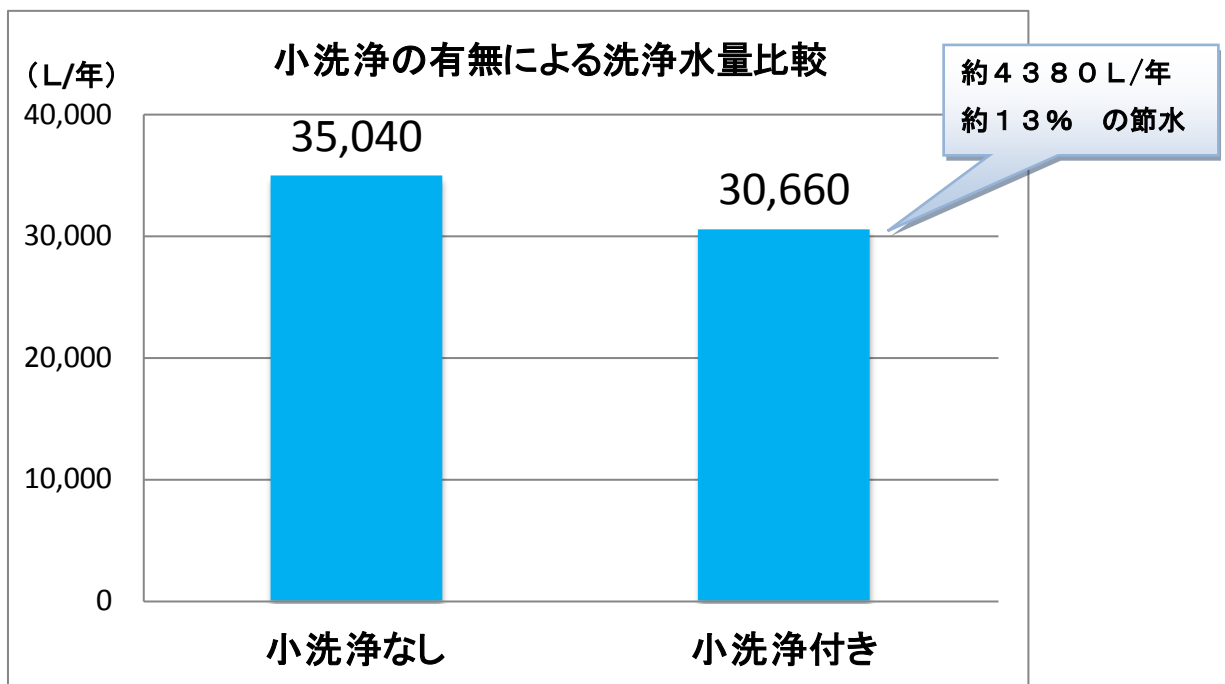
出展: 一般社団法人 日本衛生設備機器工業会 調べ

■大便器の「小洗浄」の洗浄性能を規定

節水化が進む中で、近年発売の腰掛便器には「小洗浄」が搭載されていることから、その洗浄性能が新たに規定されました。

「小洗浄」機能は、小用時に、大洗浄よりも水量の少ない洗浄水で流し節水を図ることができます。

1日のうちで、大用での使用よりも小用での使用が圧倒的に多く、毎回大洗浄を使うよりも節水が図れるメリットがあり、大洗浄6L、小洗浄5Lのタイプで小洗浄機能が付いていると、約13%の節水が図れます。



<試算条件>

4人家族で、各自が1日に大便1回、小便3回とし、小便時に大洗浄を使用して流した場合と、小洗浄を使用して流した場合の年間使用水量(単位はL/年)。大洗浄:6L、小洗浄:5Lで試算。

■自動洗浄小便器の区分新設

使用時に自動で洗浄する専用洗浄弁式(自動洗浄小便器)の区分が新設されました。人体感知センサーと洗浄用の専用洗浄弁を組み込んだ自動洗浄小便器は、商業施設、事務所、交通機関などのパブリック施設を中心に普及が進んでいます。自動洗浄小便器は、センサーと制御コントローラを搭載しており、使用状況に応じて洗浄する水の量を最適にコントロールするため、小便器任せで節水が図れます。また、使用者も使用都度押しボタンを押して流す操作も必要ないので衛生的です。

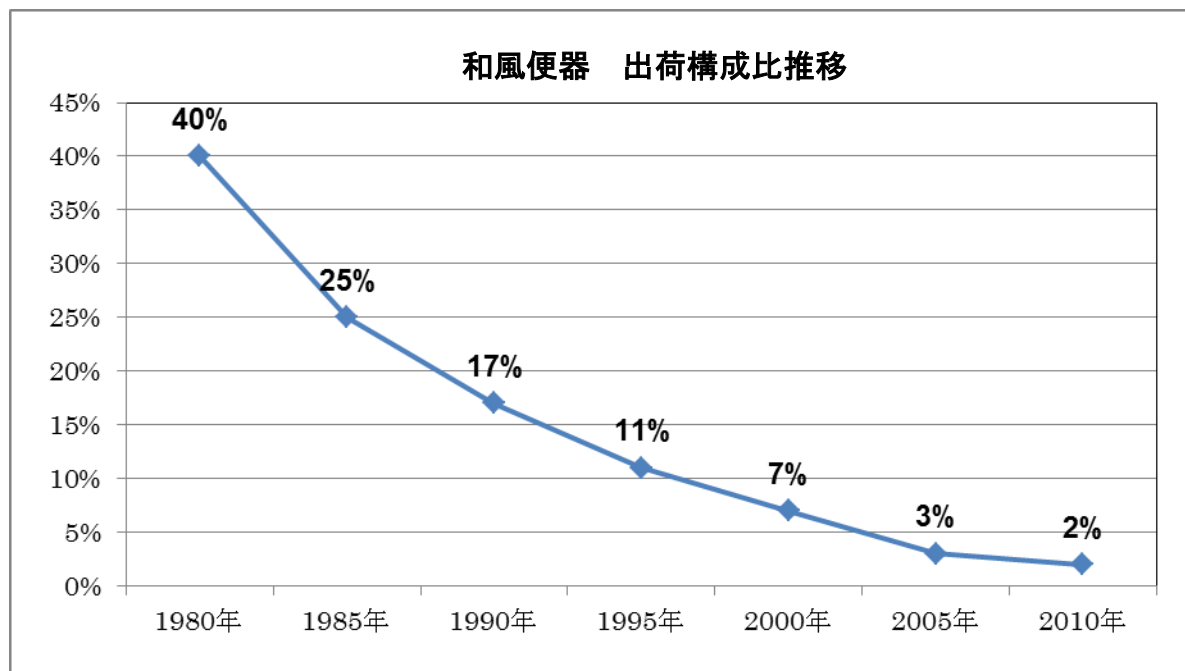


■和風便器ならびに洗浄用タンクの区分廃止

JIS から和風便器の区分が廃止されました。

また、和風便器に使用されている洗浄用タンクも区分が廃止されました。

和風便器は使用時の生活スタイルの変化や温水洗浄便座の普及により、腰掛便器に急速に移行したことで、現在では水洗便器の出荷に占める和風便器の割合はほとんどなくなってきました。



出展: 一般社団法人 日本衛生設備機器工業会 調べ

■その他

- ・安全配慮上、壁掛け大便器、壁掛け洗面器、壁掛け手洗器に耐荷重性能が規定されました。
- ・大便器の防露性能が規定されました。
- ・小便器のトラップ区分(内蔵式／着脱式)が廃止・統合されました。
- ・洗面器、手洗器の隅付きタイプの区分が廃止されました

JIS A 5207の改正内容の解説、改正前、改正後のJIS記号比較表などは、(一社)日本衛生設備機器工業会ホームページ「トイレナビ」に掲載していますのでご覧ください。

<http://www.sanitary-net.com/trend/standard-jis.html> JIS説明ページに直接リンク

＜本件に関する問い合わせ先＞

一般社団法人 日本衛生設備機器工業会 担当:福浦・立石 TEL:03-5206-5493
(東京都新宿区市谷田町2-29 こくほ21 5階)

工業会ホームページ:<http://www.sanitary-net.com/>

※「一般社団法人 日本衛生設備機器工業会」会員企業 (2014年12月現在)

アサヒ衛陶株式会社、ジャニス工業株式会社、TOTO株式会社、TOTO サニテクノ株式会社、
パナソニック株式会社、株式会社LIXIL

以上